

ランステうるぎ事業

取組に至る背景・事業の目的

標高 800m を超える高地に位置し、のどかな山村環境が長距離ランナーのトレーニングの適地であることに着目し、ウルトラマラソンのトップ選手である地域おこし協力隊の重見氏を中心に村内のスポーツ合宿環境を整え、売木村がランナーの溜まり場となるようランナーズステーションうるぎを略し「ランステうるぎ」と銘打って本格的に誘致活動を開始することとした。

事業内容

【広報宣伝活動】

○ 紹介フライヤー

売木村やランニング環境を紹介したチラシを作成、ランニングショップ等へ配布した。

○ ウェブ情報発信

合宿誘致の情報をウェブ上で配信した。テレビで紹介された効果もありアクセス数がアップし、広く情報発信できた。

【受入態勢整備】

○ 案内マップの作成

ランニングモデルコースや商店、宿泊施設を示したマップをランニング中でも持ち運べる折り畳み式で作成した。

○ のぼり旗、案内看板、距離表示板

練習環境を整えるとともに、コースや練習中のランナーの存在を示すことで注意喚起と安全対策を図った。



【村一丸となりランナーを歓迎】

事業効果

長距離走者の準高地トレーニングの場所としての認知が広がり、村一丸となって走る村づくりに取り組んでいることが周知され多くのランナーが来村した。26 年度もすでに多くの合宿予約があり、大手旅行代理店からの予約も入るようになっていく。

【平成 25 年度来村者】

- ① 競技団体合宿 3 団体・・・のべ 108 名
- ② 愛好者グループ 10 グループ・・・のべ 241 名
- ③ 個人トレーニング・・・のべ 48 名

合計のべ 397 名

その他、村を通さず独自にトレーニングに訪れた者は確認されただけで 170 名程

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

今後はさらなる来村者の増加が期待され、受け入れ態勢をさらに整備していくが必要になる。ランナー増加による交通安全対策と村民挙げての確かな協力体制を整えていきたい。

【選定のポイント】

長距離ランナーの準高地トレーニングの適地であることに着目し、これを新たな観光資源として活用する取組が広く認知され、多くのランナーの誘致に成功している。その経済効果はもとより地域住民の活力にもなり、村の振興に新たな方向付けがなされた。

団体名	売木村	事業タイプ	ソフト
連絡先	0 2 6 0 - 2 8 - 2 0 0 0	事業費	1, 2 1 1, 9 5 2 円
	http://www.urugi.jp/shigemi/	支援金額	9 0 8, 0 0 0 円